

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 2 日

Table with columns for 事務事業名, 市民参加型イベント開催支援事業, 事業区分, 担当, 政策体系, 総合計画の施策名, 0403 観光の振興, 政策名, 04 活力ある産業のまちづくり, 施策名, 03 観光の振興, 手段名, 03 ③観光まちづくりの実践, 予算科目, 会計, 款, 項, 目, 事業, 細, 一般会計, 事業期間, 単年度繰返し (平成18年度~), 法令根拠, 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要(事務事業の全体像), ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about festival events and administrative tasks.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段 (担当者の活動内容), ④活動指標 (活動量を表す指標), 単位, 28年度(実績), 29年度(実績), 30年度(計画), 31年度(目標), 32年度(目標). Includes rows for 参加団体数, 会議回数, 催事数, ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標), 市民、市外の方、観光客, ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標), 市外の方に、桜川市の特産品をPRする.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table with columns for 投入量 (事業費), 28年度(実績), 29年度(実績), 30年度(計画), 期間限定総投入量. Includes rows for 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計(A), 正規職員従事人数, 述べ業務時間, 人件費計(B), トータルコスト(A)+(B).

事業費の内訳

Table with columns for 事業費の内訳, 29年度事業費 実績(千円), 30年度事業費 予算(千円). Includes rows for 19 負担金補助及び交付金, 6,500, 19 負担金補助及び交付金, 6,800, 合計, 6,500, 合計, 6,800.

(4) 当該年度の実施内容

Table with columns for 30年度の事業内容, 31年度の事業内容, 32年度の事業内容. Includes text: ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する. 主要事業: 市長マニフェスト, 未来PJ事業, 合併建設計画事業.

事務事業名	市民参加型イベント開催支援事業	事務事業No.	40303000959	所属課	商工観光課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? ・合併前から実施していた「町民祭」や「商工祭」が、合併を機に「桜川市民祭」と名称を変更して開催した。平成28年度からは4月のヤマザクラ時期に開催し、観光的イベントとして「SAKURAフェスティバル」に生まれ変わった。 ・5年前と比べると市外の来場者も増えているようである。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 駐車場が不足しており、会場近くに確保してほしい。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	アンケートなどを活用して課題の提起、そして解決策を実行委員会で協議する。 4月開催の定着化と集客が課題であり、桜川市観光協会や地元市民団体との連携を図り、山桜を軸として回遊性を持たせて呼び込んでいく。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 観光の振興やイベントの充実が図られ、市外からの来場者も増えてきており結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ヤマザクラを核としたまちづくりの一環として、地場産業や市特産品のPRの場としている。また一方で、市民参加型のイベントを開催することで、市民の融和を図るとともに、郷土文化に対する愛着と誇りを高めることを目的としている。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 開催時期や催事内容、会場レイアウトなどを見直すことで、来場者が興味を持つようなイベントを開催する事が出来ることから向上余地はある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民同士の融和が図られなくなると共に、観光イベント及び商工業PRの場が減ってしまい影響が出る。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 桜川市観光協会と連携し、イベントのPRを強化していく。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 商工会などの関係団体と更に連携を図ることにより、効率的な運営ができる余地はある。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 全市民が対象であるので公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	平成29年度は第2回目の開催となった。来場者数は例年並み程度である。PR強化のため、今後は「真壁のひなまつり」の来場者を対象にチラシを作成するなど、様々な試みを実施していきたい。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 予算の都合上、コストのかかるイベントを新たに実施することは難しいことから、コストのかからない形で訴求力の高いイベントを検討する必要がある。また、桜川のサクラのPRについても、効果的な事業を実施する必要がある。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果																								
コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>